

# 建築研究所 ニュース



平成19年 2月 21日

## クロスラミナパネルを用いた木造建築物の実大火災実験

独立行政法人建築研究所では、クロスラミナパネルを用いた木造建築物の構造性能及び防火性能に関する性能評価法を検討するための基礎資料を収集することを目的として、国立イタリア樹木・木材研究所と共同研究を実施致します。クロスラミナパネルとは木材を直交積層した重厚なパネルで、これを壁及び床に用いて建築物を構成します。

この度、当所の屋外火災実験場にクロスラミナパネルを用いた3階建ての木造建築物(約7×7m、高さ10m)を建設し、2階の1室を出火室とする盛期火災に対して、部材の耐火性能を確かめるとともに、火災室に隣接する空間への延焼性状を把握するための実大火災実験を行います。この構法の建築物を利用した実大規模の火災実験は、世界的にも極めて希であり、貴重な技術的資料となることが期待されます。詳細は添付資料をご覧ください。

日時： 2007年3月6日(火) 午前9時30分 実験概要の説明  
午前10時 点火予定  
(天候により時間の変更、翌日3月7日へ延期、  
または中止となる場合があります。)

場所： 独立行政法人建築研究所 屋外火災実験場  
茨城県つくば市立原1番地

見学を希望される方は、3月1日(木)までに事前登録をお願いします。希望者が多数となった場合は、見学をお断りする場合がありますのでご了承下さい。また、ご来場の際には公共交通機関をご利用下さい。ご協力をお願いします。

### (内容の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所  
所属 防火研究グループ  
氏名 萩原 一郎、増田 秀昭  
電話 029-879-0692, 864-6670 (直通)  
E-mail hagiwara@kenken.go.jp,  
hmasuda@kenken.go.jp

# クロスミナパネルを用いた木造建築物の実大火災実験

独立行政法人建築研究所  
国立イタリア樹木・木材研究所 (IVALSA)

独立行政法人建築研究所では、クロスミナパネルを用いた木造建築物の構造性能及び防火性能に関する性能評価法を検討するための基礎資料を収集することを目的として、国立イタリア樹木・木材研究所と共同研究を実施致します。クロスミナパネルとは木材を直交積層した重厚なパネルで、これを壁及び床に用いて建築物を構成します。

この度、当所の屋外火災実験場にクロスミナパネルを用いた3階建て木造建築物の実大火災実験を行います。この構法の建築物を利用した実大規模の火災実験は、世界的にも極めて希であり、貴重な技術的資料となることが期待されます。

## 1. 目的と期待される成果

クロスミナパネルを用いた3階建ての木造建築物を利用して、2階の1室を出火室とする盛期火災に対して、部材の耐火性能を確かめるとともに、火災室に隣接する空間への延焼性状を把握することを目的としています。また、壁、床などの部材単位の耐火試験に基づく予測と実験結果とを比較することにより、このような木造建築物の防耐火性能の評価を行う上での基礎資料となることが期待されます。

## 2. 実験の概要

1) 日 時： 2007年3月6日(火) 午前9時30分 実験概要の説明  
午前10時 点火予定  
(天候により時間の変更、翌日3月7日へ延期、  
または中止となることがあります。)

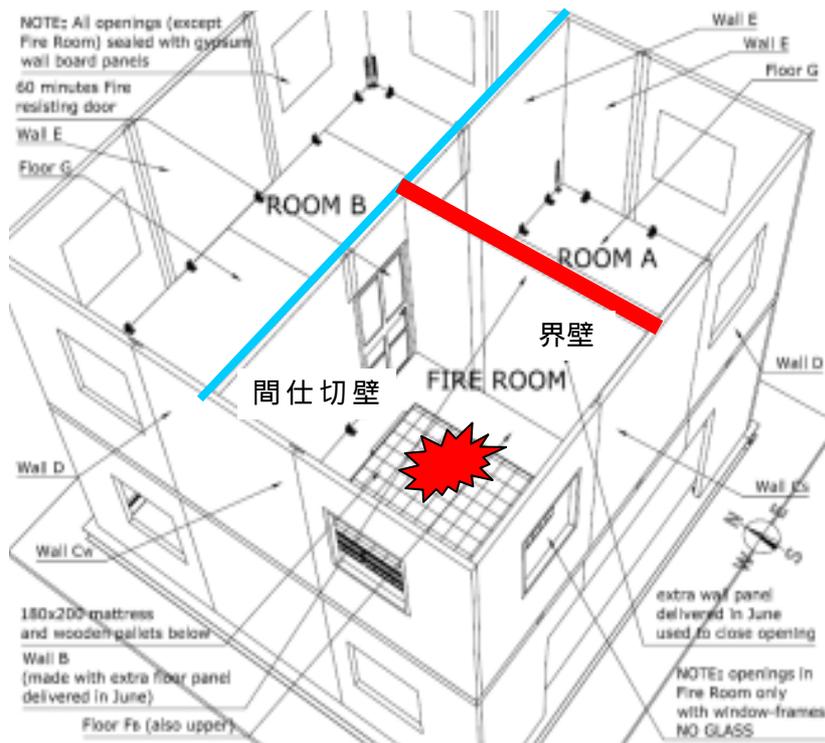
2) 場 所： 独立行政法人建築研究所 屋外火災実験場  
茨城県つくば市立原1番地

### 3) 実験建物の概要

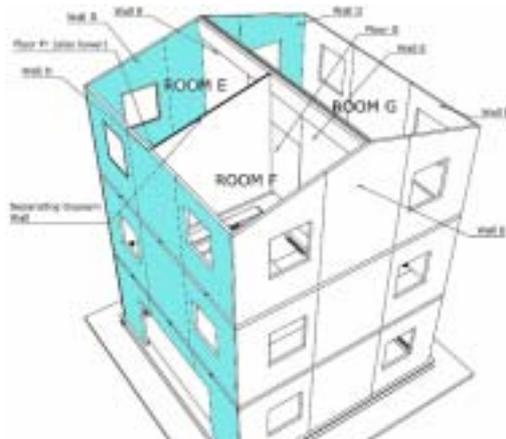
クロスミナパネルを用いた3階建ての木造建築物(約7m×7m、高さ10m)、  
床、界壁は1時間、間仕切壁は45分の耐火性能。  
出火室の収納可燃物は、木材クリブ約30kg/m<sup>2</sup>相当。

### 4) 実験のシナリオ

2階の南西の部屋から出火したことを想定して、壁や床、開口部などを經由して、  
隣接する空間へ延焼するか、または出火室の収納可燃物が燃え尽きるまで。  
(火災継続時間は約1時間を想定しています。)



2階出火室



実験建物の構成



実験建物の外観（昨年度の振動実験の様子）

### 事前登録のお願い

見学を希望される方は、氏名、所属、連絡先を記入の上、メール又は FAX にて、下記へ 3 月 1 日（木）までに申込み下さい。希望者が多数となった場合には、見学をお断りする場合がありますのでご了承下さい。

申し込み先： 独立行政法人建築研究所 防火研究グループ

山脇 ([yamawaki@kenken.go.jp](mailto:yamawaki@kenken.go.jp)) FAX 029-864-6775

問合せ先： 独立行政法人建築研究所 防火研究グループ 萩原 一郎、増田 秀昭

電話 029-864-2151(代表) 029-879-0692, 864-6670(直通) FAX 029-864-6775

E-mail [hagiwara@kenken.go.jp](mailto:hagiwara@kenken.go.jp), [hmasuda@kenken.go.jp](mailto:hmasuda@kenken.go.jp)

交通案内 ご来場の際には、公共交通機関をご利用下さい。



つくばエクスプレス（TX） 秋葉原から  
 「つくば」行き終点下車、下記路線バス使用  
 路線バス（関東鉄道バス） つくばセンターから  
 「建築研究所」行き終点  
 「下妻」または「篠崎」行き、教員研修センター下車徒歩5分  
 「テクノパーク大穂」または「筑波山口」行き、教員研修センター入口下車徒歩15分

番号	経由・行先	下車	つくばセンター発
26,36,C6	建築研究所	建築研究所（終点）	7:55 8:18 9:40
71	下妻駅	教員研修センター	8:43 9:20
18,C8,C8A	テクノパーク大穂	教員研修センター入口	7:22 8:07 9:35
61	筑波山口	教員研修センター入口	8:40
N 北部シャトル*	筑波山口	大穂庁舎	8:50 9:15

\* つくバス

その他、以下のHPをご参照下さい。

建研 <http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/transport/transport.html>

いばらき路線バス案内 <http://i-bus.web.infoseek.co.jp/ibaraki/busmap/tsukuba10.html>

つくばエクスプレス <http://www.mir.co.jp/>